平成27年10月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年3月11日

上 場 会 社 名　イハラケミカル工業株式会社　　上場取引所 東
コ ー ド 番 号　4989　　ＵＲＬ　http://www.iharachem.co.jp
代　表　者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）望月　眞佐志
問合せ先責任者　（役職名）取締役人事総務部長　（氏名）大石　裕　（TEL）03(3822)5223
四半期報告書提出予定日　平成27年3月12日　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無　：無
四半期決算説明会開催の有無　：無

（百万円未満切捨て）

１．平成27年10月期第1四半期の連結業績（平成26年11月1日～平成27年1月31日）

(1) 連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年10月期第1四半期	11,966	17.5	1,830	59.8	2,072	56.3	1,897	124.6
26年10月期第1四半期	10,183	35.4	1,145	34.3	1,326	7.1	844	4.1

（注）包括利益　27年10月期第1四半期2,669百万円（134.6%）　26年10月期第1四半期1,137百万円（△35.3%）

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年10月期第1四半期	41.35	－
26年10月期第1四半期	18.79	－

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年10月期第1四半期	61,266	46,234	69.4
26年10月期	57,576	44,029	70.2

（参考）自己資本　27年10月期第1四半期42,542百万円　26年10月期　40,413百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年10月期	－	－	－	10.00	10.00
27年10月期	－				
27年10月期(予想)		5.00	－	5.00	10.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無
26年10月期期末配当金の内訳　普通配当　5円00銭　記念配当　5円00銭

３．平成27年10月期の連結業績予想（平成26年11月１日～平成27年10月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	22,000	19.7	2,800	29.2	3,200	26.9	2,600	62.2	56.66
通期	42,000	14.3	3,800	10.4	4,500	9.9	3,300	34.1	71.91

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：有

※注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)　：無

新規　—社　（社名）　　、除外　—社　（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：有

（注）詳細は添付資料P3「(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：有

② ①以外の会計方針の変更　：無

③ 会計上の見積りの変更　：無

④ 修正再表示　：無

（注）詳細は添付資料P3「(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年10月期1Q	51,849,917株	26年10月期	51,849,917株
② 期末自己株式数	27年10月期1Q	5,956,095株	26年10月期	5,960,363株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年10月期1Q	45,894,404株	26年10月期1Q	44,961,262株

（注）期末自己株式数及び期中平均株式数（四半期累計）の算定上控除する自己株式数には、従業員持株会信託型ESOPの保有する当社株式数が含まれております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付書類3ページ (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報　・・・・・・・・・・・・・・・・・P2

(1)　経営成績に関する説明・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P2
(2)　財政状態に関する説明・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P2
(3)　連結業績予想などの将来予測情報に関する説明・・・・・・・P3

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項・・・・・・・・・・・・・P3

(1)　当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動・・・・・P3
(2)　四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用・・・・・P3
(3)　会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示・・・・P3

３．四半期連結財務諸表　・・・・・・・　・・・・・・・・・・・・・・・P4

(1)　四半期連結貸借対照表　・・・・　・・・・・・・・・・・・・・・P4
(2)　四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書・・・・P6
四半期連結損益計算書
第1四半期連結累計期間・・・　・・・・・・・・・・・・・・・・P6
四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間　・・　・・・・・・・・・・・・・・・・P7
(3)　四半期連結財務諸表に関する注記事項・・・・・・・・・・・・P8
（継続企業の前提に関する注記）・　・・・・・・・・・・・・・・P8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）・・・・P8
（セグメント情報等）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P9

１．当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国経済が堅調に推移する一方で、ユーロ圏及び中国における経済動向が伸び悩みをみせる世界情勢のなか、国内における企業の設備投資や雇用面において緩やかな回復基調が見られますが、円安によるマーケットの急激な変動に懸念がもたれ、先行きは慎重な見方となっております。

このような状況のもと、当社グループといたしましては、中期的視点に立った販売予測を充分に反映した調達・投資の最適化や、調達・生産面での継続的な原材料費削減努力により、既存製品はもとより本格販売を開始した新製品の採算性を強く意識した取組みを実施するとともに、事業領域の拡大を基盤とした事業推進により、顧客価値実現に向けた能動的な取り組みの推進強化に努めました。

その結果、当第１四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、売上高は119億6千6百万円（前年同四半期比17億8千3百万円増）、営業利益は18億3千万円（前年同四半期比6億8千4百万円増）、経常利益は20億7千2百万円（前年同四半期比7億4千5百万円増）、四半期純利益は開発品の知的財産権譲渡にともなう特別利益の計上により、18億9千7百万円（前年同四半期比10億5千2百万円増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

＜農薬事業＞

除草剤、殺菌剤、その他、農薬原料を主とした農薬事業につきましては、国内向けは殺菌剤等の減少を水稲用除草剤等の増加で補い、海外向けは水稲用除草剤、綿花用除草剤等の増加により、当事業の売上高は83億7千8百万円（前年同四半期比16.2％増）、セグメント利益は17億3千4百万円（前年同四半期比52.9％増）となりました。

＜化成品事業＞

トルエン・キシレン系化学品、精密化学品、産業薬品を主とした化成品事業につきましては、医薬中間体、トルエン・キシレン系化学品である樹脂原料等の増加により、当事業の売上高は32億3千2百万円（前年同四半期比23.5％増）、セグメント利益は2億7千7百万円（前年同四半期比13.5％増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

（資産）

流動資産の残高は、売上増に伴う受取手形及び売掛金の増加を主因として、340億6千6百万円（前連結会計年度末は313億1千6百万円）となりました。

固定資産の残高は、投資有価証券の増加等により、272億円（前連結会計年度末は262億6千万円）となりました。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて36億8千9百万円増の612億6千6百万円となりました。

（負債）

流動負債の残高は、その他流動負債等の減少はありましたが、短期借入金並びに支払手形及び買掛金等の増加により、101億5千2百万円（前連結会計年度末は90億5千1百万円）となりました。

固定負債の残高は、役員退職慰労引当金等の減少はありましたが、長期借入金、繰延税金負債等の増加により、48億7千9百万円（前連結会計年度末は44億9千5百万円）となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて14億8千5百万円増の150億3千2百万円となりました。

（純資産）

純資産合計は、利益剰余金の増加を主因として、前連結会計年度末に比べて22億4百万円増の462億3千4百万円となりました。

(3)　連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年2月2日に公表しました業績予想を修正しております。詳細につきましては、同日付の当社「業績予想の修整に関するお知らせ」をご参照ください。なお、実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。

今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示する予定でおります。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1)　当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2)　四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3)　会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号　平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号　平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更し、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間ごとに設定された複数の割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間期首の投資その他の資産「退職給付に係る資産」が23百万円増加し、固定負債「退職給付に係る負債」が13百万円減少し、利益剰余金が23百万円増加しております。また、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成26年10月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成27年１月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,713	8,841
受取手形及び売掛金	9,781	13,400
有価証券	494	94
商品及び製品	6,297	6,146
仕掛品	2,517	1,602
原材料及び貯蔵品	2,733	2,968
繰延税金資産	693	672
その他	84	339
流動資産合計	31,316	34,066
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,372	11,386
機械装置及び運搬具	31,761	31,797
土地	3,708	3,737
その他	3,214	3,287
減価償却累計額	△39,756	△40,025
有形固定資産合計	10,301	10,183
無形固定資産	94	93
投資その他の資産		
投資有価証券	14,359	15,380
退職給付に係る資産	322	349
繰延税金資産	322	318
その他	868	883
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	15,864	16,922
固定資産合計	26,260	27,200
資産合計	57,576	61,266

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成26年10月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成27年１月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,891	4,408
短期借入金	620	2,220
1年内返済予定の長期借入金	69	194
未払法人税等	927	912
賞与引当金	515	194
その他	3,027	2,223
流動負債合計	9,051	10,152
固定負債		
長期借入金	227	590
退職給付に係る負債	1,545	1,511
役員退職慰労引当金	510	263
繰延税金負債	2,128	2,431
その他	83	82
固定負債合計	4,495	4,879
負債合計	13,547	15,032
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,764	2,764
資本剰余金	5,833	5,833
利益剰余金	28,402	29,862
自己株式	△1,546	△1,543
株主資本合計	35,453	36,917
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,798	5,341
為替換算調整勘定	232	351
退職給付に係る調整累計額	△71	△67
その他の包括利益累計額合計	4,960	5,625
少数株主持分	3,615	3,691
純資産合計	44,029	46,234
負債純資産合計	57,576	61,266

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成25年11月１日 至　平成26年１月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成26年11月１日 至　平成27年１月31日）
売上高	10,183	11,966
売上原価	7,884	8,999
売上総利益	2,298	2,967
販売費及び一般管理費	1,152	1,137
営業利益	1,145	1,830
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	54	62
受取賃貸料	8	9
持分法による投資利益	104	142
為替差益	7	17
その他	9	14
営業外収益合計	185	246
営業外費用		
支払利息	5	4
その他	0	0
営業外費用合計	5	4
経常利益	1,326	2,072
特別利益		
知的財産権譲渡益	－	883
受取保険金	7	－
特別利益合計	7	883
特別損失		
固定資産除却損	0	4
特別損失合計	0	4
税金等調整前四半期純利益	1,333	2,951
法人税等	422	949
少数株主損益調整前四半期純利益	911	2,002
少数株主利益	66	104
四半期純利益	844	1,897

四半期連結包括利益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成25年11月１日 至　平成26年１月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成26年11月１日 至　平成27年１月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	911	2,002
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	150	544
退職給付に係る調整額	－	4
持分法適用会社に対する持分相当額	76	118
その他の包括利益合計	226	667
四半期包括利益	1,137	2,669
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,071	2,562
少数株主に係る四半期包括利益	66	106

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）
該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）
該当事項はありません。

（セグメント情報等）

Ⅰ 前第１四半期連結累計期間（自　平成25年11月１日　至　平成26年1月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他(注)1	合計	調整額(注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
	農薬事業	化成品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,209	2,618	9,827	355	10,183	－	10,183
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	7	7	185	193	△193	－
計	7,209	2,625	9,835	541	10,376	△193	10,183
セグメント利益又はセグメント損失（△）	1,134	244	1,379	△27	1,352	△206	1,145

（注）1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ファフィア酵母等の飼料用添加剤、工業薬品類等の製造、販売を行っております。
2. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△206百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第１四半期連結累計期間（自　平成26年11月１日　至　平成27年1月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他(注)1	合計	調整額(注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
	農薬事業	化成品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,378	3,232	11,610	356	11,966	－	11,966
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	8	8	198	207	△207	－
計	8,378	3,240	11,618	555	12,174	△207	11,966
セグメント利益	1,734	277	2,012	25	2,037	△207	1,830

（注）1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ファフィア酵母等の飼料用添加剤、工業薬品類等の製造、販売等を行っております。
2. セグメント利益の調整額△207百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。